



2017年5月2日

第11回エコプロダクツ国際展、ホーチミン市で開催



- 2017年5月11日～13日、ベトナム・ホーチミン市にて、環境に配慮した製品・技術・サービスを展示するエコプロダクツ国際展（EPIF）を開催
- ベトナム政府・企業関係者等に対し、ベトナム内外において環境に配慮した生産活動を行っていく上でのニーズ等を把握する機会を提供
- 「Green Technologies and Products : Action for the Future」（環境技術と製品：将来に向けたアクション）をテーマに、ベトナムにおける「緑の生産性（Green Productivity）」と環境に調和した成長を促進

アジア生産性機構（APO）とベトナム生産性本部（VNPI）は、ベトナム環境庁（VEA）とベトナム商工会議所（VCCI）の共催により、アジア最大の環境国際展である**第11回エコプロダクツ国際展（EPIF 2017）**を**2017年5月11日～13日、ホーチミン市のサイゴン エクシビジョン&コンベンションセンター**で開催します。ベトナムでEPIFが開催されるのは、2008年のハノイでの開催以来、2度目となります。

「Green Technologies and Products : Action for the Future」をテーマとしたEPIF 2017は、世界最先端の環境技術を紹介することにより、企業関係者に事業パートナー発掘の機会を提供すると同時に、市場に出回っている幅広い環境配慮型の製品・サービスに対する一般消費者の認知向上を図ることを目的としています。展示会には開催国であるベトナムのほか、日本、韓国、ドイツなどから150以上の企業・団体が出展し、それぞれの環境に配慮した製品、技術、サービスを展示します。

展示会の催し物として、ベトナム・日本エコビジネスミーティング、ベトナム環境庁の表彰（EPIF2017 出展企業・団体の中から、環境に配慮した優れた製品・サービス・技術を提供する企業・団体を選んで表彰）、エコ大抽選会、エコアート大会、ワークショップなどが盛り込まれています。

また、この展示会と併催されるAPO国際環境経済フォーラム「Action for the Future and Moving toward a Virtuous Circle for Sustainable Development」（将来に向けたアクションと持続可能な発展のための好循環への移行）では、APO 緑の生産性諮問委員会会長を務める馬田一・

JFE ホールディングス相談役による基調講演のほか、山本良一・東京大学名誉教授をはじめ、中華民国（台湾）、インド、ドイツ、英国、UNIDO のエキスパートによる講演や、複数の日本企業による持続可能な循環型経済へ向けた自社の取り組みの紹介が行われる予定です。

EPIF 2017 は入場無料です。

(APO、GPAC、および EPIF については次ページのファクト・シートをご参照下さい。)

お問い合わせ先

APO 事務局 広報担当 (パース / 藤本)

Tel: 03-3830-0411; Fax: 03-5840-5322

メール: sparth@apo-tokyo.org / yfujimoto@apo-tokyo.org

ウェブサイト: www.apo-tokyo.org

FACT SHEET (ファクト・シート)

APO

アジア生産性機構（APO）は生産性向上を目的としたアジア太平洋地域で唯一の国際機関です。1961年政府間協定の締結により設立されて以来、APOは生産性向上を通してアジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に重要な役割をはたしており、現在APOには20の国・地域が加盟しています。APOは研修、ワークショップ、セミナー、その他の能力開発の取り組みを通して加盟国の生産性向上を支援しています。

緑の生産性諮問委員会（GPAC）の設立

2003年、APOは、優れた環境対策実績を持つ日本企業から助言や協力を得るために、緑の生産性諮問委員会（GPAC：Green Productivity Advisory Committee）を設立しました。GPACは、環境や経済問題に携わる企業経営責任者で構成されており、2017年1月現在、GPACには57社が参加しています。

エコプロダクツ国際展（EPIF）

2004年、APOはGPACの全面的な協力を得てEPIFを開催しました。アジア太平洋地域におけるサプライチェーンのグリーン化に向け国際協力の強化を目指す展示会、そして同時開催される国際会議を通じ、各企業には自社の環境ビジネスを拡充する機会、政府関係者には政策のグリーン化の手法を探る機会が提供されています。その後、EPIFは毎年異なるAPO加盟国において開催され、回を重ねるごとに規模が大きくなり、国際的な注目度も高まってきました。EPIFは今やアジア最大の環境展示会の1つとして、その地位を確立しています。

（ウェブサイト：<http://epif2017.jp/>）

過去のエコプロダクツ国際展開催国

開催年	開催国
2004	マレーシア
2005	タイ
2006	シンガポール
2008	ベトナム
2009	フィリピン
2010	インドネシア
2011	インド
2013	シンガポール
2014	台湾
2016	タイ